

令和5年1月31日

保護者様

倉敷市立福田南中学校
校長 日笠 龍太郎

「学校自己評価」アンケート結果について

厳寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のことと拝察いたします。平素より本校教育充実のためにご協力をいただき、感謝いたしております。

さて、過日ご協力いただきました「学校自己評価」のアンケート結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

この調査は、学校の現状と課題を明らかにし、よりよい教育を実施するための資料を得ることを目的としたものであります。

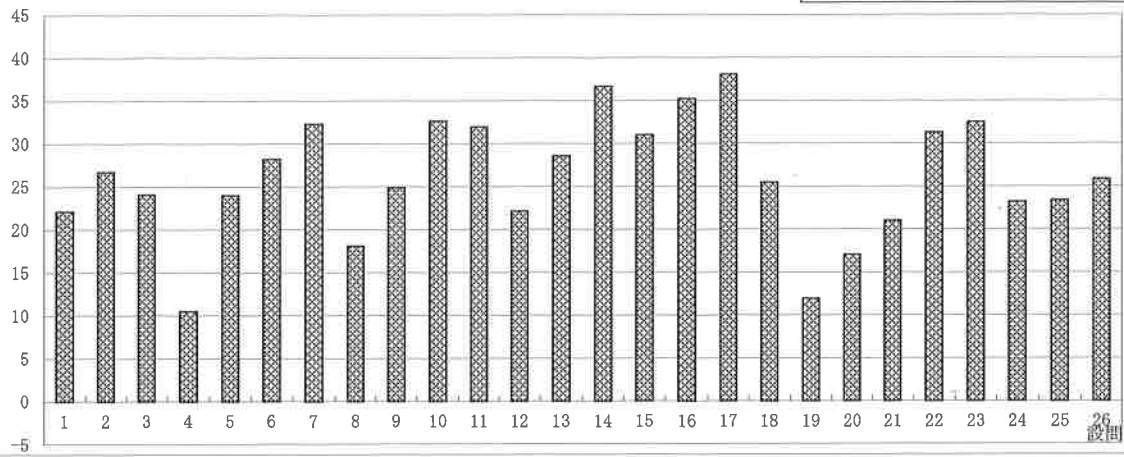
この結果やいただいたご意見ご要望につきましては、今後、本校教育の充実に向けて多角的に検討していくための貴重な参考資料とさせていただきたいと考えておりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

■ 生徒結果 (1:よく当てはまる 2:やや当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:全く当てはまらない)

	評 価 項 目	1	2	3	4	無答
1	学校は、魅力ある学校づくりを行っている。	27%	56%	14%	3%	0%
2	学校へ来るのが楽しい。	45%	39%	12%	5%	0%
3	学校の雰囲気はよく、のびのびと生活できている。	34%	48%	15%	3%	1%
4	学校は美しく、環境が整備されている。	17%	49%	26%	8%	0%
5	授業は楽しく、わかりやすい。	29%	56%	13%	2%	0%
6	授業で、基礎的なことは身に付いている。	39%	49%	10%	2%	0%
7	授業の指導内容や方法について、工夫している先生が多い。	46%	45%	7%	1%	0%
8	授業時間も含め、分からないことについて先生に質問しやすい。	34%	37%	23%	5%	0%
9	授業の進度や宿題の分量は、学力を定着及び向上させるために適切なものになっている。	34%	49%	13%	3%	0%
10	先生は、学習において能力や努力を適切に評価してくれている。	47%	46%	5%	2%	1%
11	生徒は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	50%	40%	6%	3%	1%
12	生徒会活動が活発であり、生徒会の行事に積極的に参加している。	35%	44%	15%	5%	0%
13	学級の雰囲気はよく、友達関係もよい。	43%	44%	8%	4%	0%
14	体育会や文化発表会、宿泊行事などの学校行事は楽しみである。	68%	22%	6%	3%	0%
15	先生は、生徒の悩みをよく聞き、相談に乗ってくれる。	48%	41%	8%	2%	1%
16	学校では、命の大切さ、社会のルールや日常生活のマナーなどについて教えられている。	54%	40%	5%	1%	0%
17	先生は、間違った行動に対して、きちんと正したり、叱ったりしてくれる。	63%	33%	3%	1%	0%
18	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	39%	44%	13%	4%	0%
19	生徒は、交通規則を守り、安全に登下校していると思う。	26%	38%	29%	6%	1%
20	生徒は、「あいさつ」がよくできていると思う。	25%	48%	23%	3%	1%
21	生徒は、時と場合に応じた言葉遣いや服装ができていると思う。	25%	55%	17%	2%	1%
22	学校では、将来の進路や職業について適切に指導してくれている。	49%	41%	8%	2%	0%
23	学校では、健康で安全な生活を送るために必要なことがらを学ぶ機会がある。	47%	45%	7%	1%	1%
24	学校の施設・設備はきちんと点検され、壊れたところは適切に整備される。	37%	43%	14%	5%	1%
25	学校では、快適な学習環境を確保するために施設・設備の充実が図られている。	33%	48%	15%	3%	1%
26	台風・地震・火災などの災害時にどう対応すればよいか、具体的に指導を受けている。	41%	41%	14%	3%	0%

学校自己評価（生徒全体）

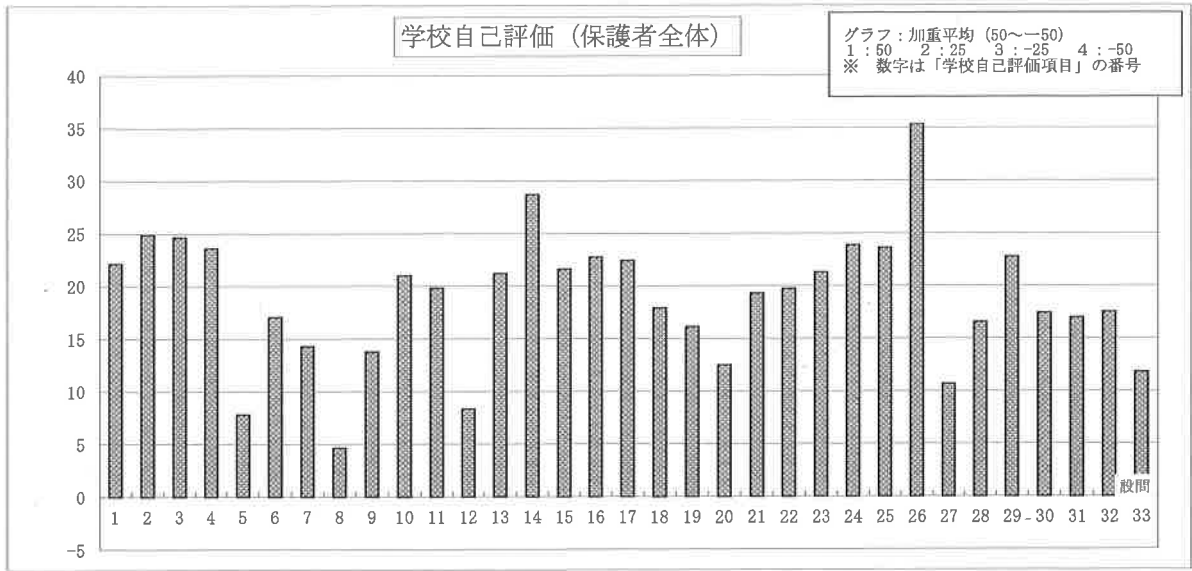
グラフ：加重平均（50～50）
1：50 2：25 3：-25 4：-50
※ 数字は「学校自己評価項目」の番号



※加重平均とは、2種類以上もっているときに、単純に平均せず、それぞれの個数の差を加味して計算する方法です。

■ 保護者結果 (1:よく当てはまる 2:やや当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:全く当てはまらない)

	評 価 項 目	1	2	3	4	無答
1	学校は、魅力ある学校づくりを行っている。	21%	62%	13%	1%	3%
2	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	37%	47%	13%	4%	0%
3	学校の雰囲気はよく、子どもたちはのびのびと生活している。	30%	54%	13%	1%	2%
4	学校の美化や環境整備はよくできている。	26%	58%	13%	1%	2%
5	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	13%	48%	33%	5%	1%
6	学校は、基礎学力の定着が図れるように努力してくれている。	20%	54%	21%	2%	3%
7	授業の指導内容や方法について、工夫している先生が多い。	16%	51%	25%	1%	7%
8	子どもは、分からないことを、先生に気軽に質問しているようだ。	19%	35%	34%	10%	2%
9	授業の進度や宿題の分量は、学力を定着及び向上させるために適切なものになっている。	15%	55%	24%	3%	4%
10	先生は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価している。	22%	58%	15%	1%	4%
11	子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	45%	27%	11%	13%	3%
12	生徒会活動が活発であり、生徒会の行事に積極的に参加しているようだ。	18%	42%	29%	7%	4%
13	子どもは、自分の学級が楽しく、友達関係もよいと言っている。	34%	43%	17%	5%	1%
14	子どもは、体育会や文化発表会、宿泊行事などの学校行事を楽しみにしている。	52%	31%	12%	4%	1%
15	先生は、生徒の悩みをよく聞き、相談に乗ってくれているようだ。	31%	46%	18%	2%	3%
16	学校は、命の大切さ、社会のルールや日常生活のマナーについて指導している。	27%	55%	14%	1%	3%
17	先生は、子どもの間違った行動に対して、厳しく指導している。	32%	47%	16%	2%	3%
18	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	25%	47%	22%	1%	4%
19	本校の生徒は、交通規則を守り、安全に登下校している。	20%	52%	23%	2%	2%
20	本校の生徒は、「あいさつ」がよくできる。	16%	52%	27%	3%	2%
21	本校の生徒は、時と場合に応じた言葉遣いや服装ができています。	18%	61%	16%	1%	4%
22	学校では、将来の進路や職業について適切に指導してくれている。	21%	57%	18%	1%	3%
23	学校では、健康で安全な生活を送るために必要なことがらを学ぶ機会がある。	19%	62%	13%	1%	6%
24	学校の施設・設備は、教育活動に支障がないように整備されている。	25%	59%	12%	1%	4%
25	学校は、快適な学習環境を確保するために施設・設備の充実に努めている。	26%	57%	13%	0%	4%
26	警報発令時の対応を知っている。	52%	42%	4%	1%	1%
27	校長の学校づくりの方針はよく伝わっている。	15%	47%	28%	3%	7%
28	学校は、教育方針や具体的な活動について家庭にわかりやすく伝えている。	20%	53%	20%	3%	4%
29	学校は、保護者に行事の案内をよく出し、教育活動を参観する機会をよく設けている。	30%	50%	15%	2%	3%
30	学校は、保護者や地域の思いをくみ取って、教育活動を行っている。	18%	55%	19%	1%	7%
31	子どものことで悩みごとがあるとき、学校に気軽に相談できる。	27%	45%	21%	5%	2%
32	学校には、地域の施設や人材を教育活動に活用しようとする姿勢がある。	20%	52%	19%	1%	8%
33	PTA活動は活発である。	10%	56%	23%	3%	9%



※加重平均とは、2種類以上もっているときに、単純に平均せず、それぞれの個数の差を加味して計算する方法です。

令和5年度に向けての課題（令和4年度学校自己評価の「分析と考察」より）

(1) 学校生活全般

- ・ 「学校に来るのが楽しい」と感じる生徒を90%以上にする。
(楽しいと感じている生徒が84%、子どもが楽しんでいると感じている保護者が84%)
そのためには「学級の楽しい雰囲気づくり」「良好な友達関係づくり」に引き続き取り組む。

(2) 学習・授業・宿題

- ・ 各教員が、授業についての力量をさらに高め、引き続き「楽しく分かりやすい授業」「個人に応じた教科指導」を工夫する。
- ・ 特に「分からないことについて質問しやすい雰囲気の醸成」「授業内外における質問できる機会の充実」を図るため、今までどおり学習相談や補充学習・個別指導等を強化する。
- ・ 授業等でタブレット端末を利活用することにより、生徒が主体的に学習活動に取り組むことができるようにすすめる。
- ・ 授業の内容について、引き続き各教科でしっかり情報交換をし、指導内容・方法の一層の工夫改善を図る。そのために、定期的に教科会を開くことや授業研究を行う。
- ・ 宿題の分量等について、各教科・各学年で検討し、適切な家庭学習を課したり、定期的に家庭学習の時間を調査したりすることで、家庭学習の習慣を身に付けさせる。
(プラス20分以上)

(3) 教育課程

- ・ 学習指導要領による実践。

(4) 特別活動

- ・ 学校行事は生徒が最も楽しみにしていることから、精選してさらなる充実を図る。
- ・ 生徒会活動については、執行部だけでなく、各委員会の活動をより充実させ、生徒自身の手で学校生活を充実・向上させる活動をさらに進める。
- ・ 清掃活動については、美化委員会や生徒ボランティアの活動を充実させる。
- ・ 人権教育については、スマホ・ネット問題の取組を充実させ、いじめに関する指導を中心に、具体的な活動・学習をさらに進める。

(5) 生徒指導

- ・ 「あいさつ」は、生徒会や部活動を中心とした取組をさらに推進させたい。
- ・ 「交通ルールを守った安全な登下校」については、命にかかわることなので、引き続き重点課題として取り組む必要がある。ヘルメットの着用、並進等、また、夜光タスキの着用の推進と荷物の積み方について継続的に指導していく。
- ・ 「服装」「言葉遣い」についてもよくはなっているが、さらなる改善に向けて指導していきたい。
- ・ 「毅然とした指導」は実態を踏まえ、学校としての生徒指導方針を立て、ぶれない指導を行っていく。
- ・ いじめ・不登校対策の充実をチーム学校として対応する。

(6) 施設・設備

- ・ 施設・設備の改修については、教育委員会とも相談しながら、改善を要望し続けていく。

(7) 教員間の連携・学校組織としての力量アップ

- ・ 各分掌や各学年間の連携、各分掌や教科での優れた取組の共有をさらに進め、学校組織としての教員集団の力量をさらにアップさせる。
- ・ OJTチーム研修の取組を推進する。

(8) 保護者・地域との関係

- ・ 保護者が気軽に相談できる雰囲気・機会をつくる方策を考える。